三次市ため池ハザードマップ

加　藤

ため池番号:342090130

このマップは、防災重点ため池が決壊した場合に、被害が予想される範囲を表示しています。

災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

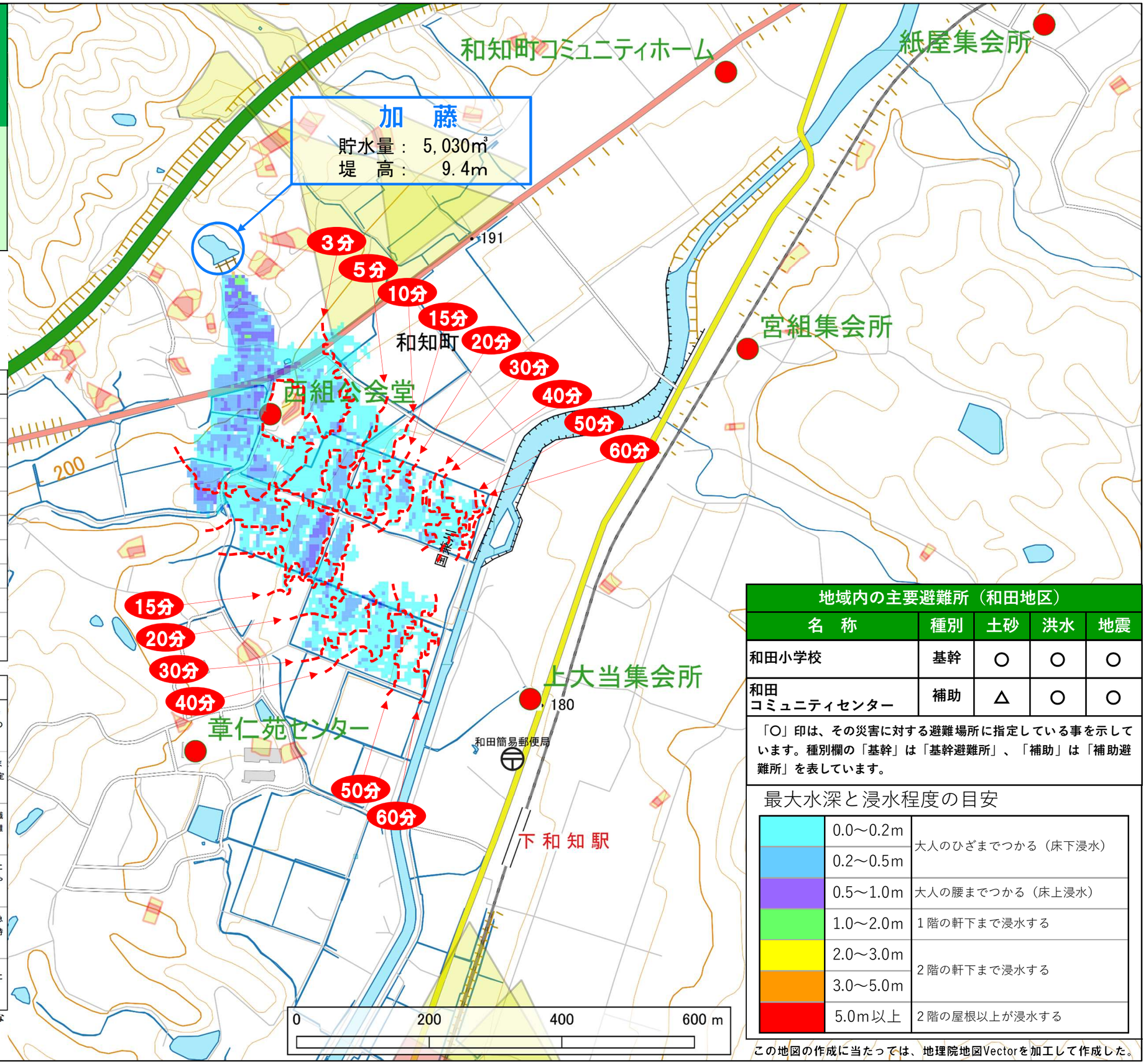
凡　例

- 対象ため池
- その他のため池
- ため池決壊後の到達時間
- 河川
- 鉄道
- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）
- 土砂災害特別警戒区域（土石流）
- 土砂災害特別警戒区域（地すべり）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜地）
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

地図上に示す記号の凡例

基幹避難所	自主避難を促す場合や，避難準備・高齢者等避難開始，避難勧告などの発令により開設する避難所
補助避難所	状況により，基幹避難所と同時，または追加して開設する避難所（指定避難所・指定緊急避難場所）
地域避難場所	気象状況等に応じて，自主防災組織や地域の方が自主的に開設する避難場所
福祉避難所	基幹避難所，補助避難所での生活において特別な配慮が必要な高齢者や障がいのある方が避難する避難所
浸水時緊急避難施設	河川決壊，越流，内水などによる急激な増水で逃げ遅れた場合に，一時的に緊急退避する施設
広域避難場所	災害が大規模化し，被害が広範囲に及ぶ場合に開設する避難場所

※災害の状況によっては、開設されない場合や、他の安全な場所に移動しなければならない場合もあります。
周囲の状況を確認し、命を守る行動をしましょう。



地域内の主要避難所（和田地区）

名　称	種別	土砂	洪水	地震
和田小学校	基幹	○	○	○
和田コミュニティセンター	補助	△	○	○

「○」印は、その災害に対する避難場所に指定している事を示しています。種別欄の「基幹」は「基幹避難所」、「補助」は「補助避難所」を表しています。

最大水深と浸水程度の目安

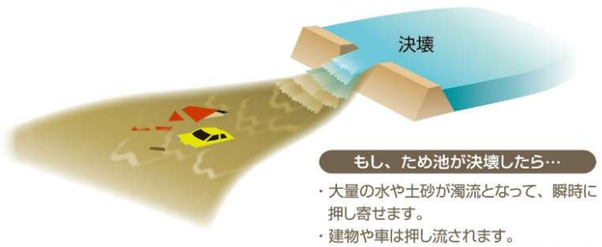
0.0～0.2m	大人のひざまでつかる（床下浸水）
0.2～0.5m	
0.5～1.0m	大人の腰までつかる（床上浸水）
1.0～2.0m	1階の軒下まで浸水する
2.0～3.0m	2階の軒下まで浸水する
3.0～5.0m	
5.0m以上	2階の屋根以上が浸水する

この地図の作成に当たっては、地理院地図Vectorを加工して作成した。

作成／令和5年（2023年）12月　三次市　産業振興部　農政課

三次市ため池ハザードマップ

平成28年熊本地震や、平成30年7月豪雨などの近年の災害において、ため池が相次いで決壊し、下流の地域で被害が発生しています。このマップを活用して、ため池が決壊した場合に被害が予想される範囲や、避難方法を確認しましょう。



もし、ため池が決壊したら…

- 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。

いざというときの緊急連絡先（TEL）

ため池の亀裂や漏水などの異常を発見した場合は、**ため池管理者**まで連絡をお願いします。

警察	110	消防	119
三次市役所（代表）	0824-62-6111		
三次警察署	0824-64-0110		
備北地区消防組合・消防本部	0824-63-1191		
災害情報案内	0824-62-5119		
災害用伝言ダイヤル	171（局番なし）		

積極的に防災情報を入手しよう

三次市では、災害時における防災情報をさまざまな形で配信しています。

スマートフォンアプリによる配信サービス

音声告知放送の緊急放送が、お使いのスマートフォンから自動的に流れます。受信した音声放送は、何度も聞き直すことができます。

iOS（iPhone・iPad）　Android

防災一斉メール配信サービス

下記アドレスに、空メールを送信して、登録してください。

bousai.miyoshi-city@raiden.ktaiwork.jp

防災情報ファックス配信サービス

防災一斉メール配信サービスが利用できない方を対象に、ファックスによる配信をおこなっています。登録手続きは、危機管理課、または各支所の窓口まで。

● ため池決壊について知ろう

≫ ため池決壊の原因（大雨と地震）

大雨

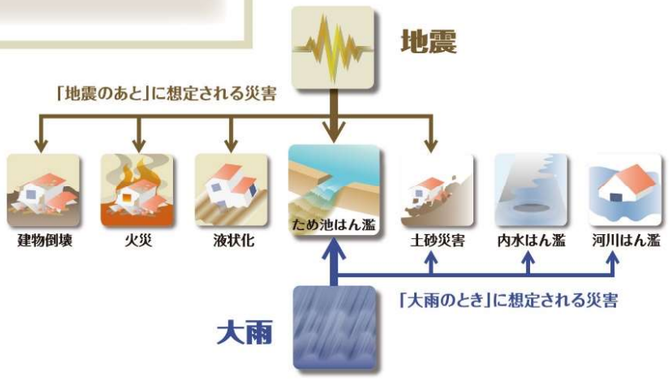
集中豪雨や長雨、土砂災害や流木などによって、ため池の水位が上昇すると、堤防で漏水が起こったり、越水した水の勢いで堤防が侵食されて、ため池が決壊するおそれがあります。

地震

地震による強い揺れによって、堤防に亀裂や陥没などが発生したり、地盤が液状化してため池が決壊することもあります。

▶ ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。ため池決壊と同時に注意が必要です。



● ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

【マップを確認】

●想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。

●裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

3m 以上の浸水（【判断】必ず）

- 2階以上が浸水
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある

→【どこへ】浸水しない場所（避難場所、道路、空き地、高台など）

- 安全な場所へ避難する
- 立退き避難

0.5～3m 未満の浸水（【判断】時間と安全な避難経路が確保されていれば／少なくとも）

- 床上浸水
- 1階以上が浸水
- 強い水流の中を歩くことは危険

→【どこへ】自宅の２階 危険のない近くの高い建物

- 自宅や近くの丈夫な建物の２階以上にとどまる
- 垂直避難

0.5m 未満の浸水（【判断】必ず）

- 床下浸水
- 大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険

→【どこへ】自宅にとどまる

- むやみな移動はかえって危険
- 屋内安全確保

【どうやって】

- ●歩きやすい服装
- ●徒歩で避難
- ●お年寄りなどの避難に協力を
- ●事前に避難先を話し合う

- ●水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを２階に持って上がる
- ●近所のお年寄りもご一緒に

●こんなときは避難しましょう

- ・大規模な地震が発生したら（2～3日後までは警戒が必要）
- ・集中豪雨、長雨のとき
- ・避難勧告、避難指示（緊急）が発令されたら

● 「警戒レベル4」で全員が安全な場所に避難しましょう

避難情報が発令された場合には、さまざまな手段で住民のみなさんに伝達します。

「警戒レベル３」や「警戒レベル４」で、地域のみなさんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

三次市 → 避難情報
- ●音声告知放送
- ●インターネット
- ●携帯電話（登録制メール・エリアメール含む）
- ●ケーブルテレビ　●ラジオ
- ●広報車　●サイレン　●拡声器　●半鐘

→ 住民のみなさん

危険度 高

警戒レベル 5		既に**災害が発生**している状況です。**命を守るための最善の行動**をとりましょう。
警戒レベル 4	全員が速やかに避難	**速やかに避難先へ避難しましょう。** 緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル 3	高齢者など避難	**避難に時間を要する人（ご高齢の方、身体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者**は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル 2		ハザードマップで避難行動を確認しましょう。
警戒レベル 1		災害への心構えを高めましょう。

危険度 低

※各種の情報は、警戒レベル１～５の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
※危険を感じたら、これらの発表を待たずに自主避難をしてください。
※逃げ遅れによる被災が多くなっています。